

## 英語科学習指導案

学 級 2年3組 (男子13名 女子16名 計29名)  
指導者 教諭 榎 引 かおり

### 1 単元名 Program7 If You Wish to See a Change (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

### 2 単元の目標

- (1) セヴァンさんのスピーチの内容やメッセージに関心を持ち、自分の考えや感想を書くことができる。【外国語表現の能力】  
※ [CAN-DO リストとの関連 書くこと (2)]
- (2) 動名詞<enjoy[like, finish]+動詞の-ing 形>、<look[become]+形容詞>、<give+人+もの>を用いた文の構造を理解することができる。【言語や文化についての知識・理解】
- (3) 既習事項や辞書を活用するなどして、自分の考えや感想を書くことができるようにする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

### 3 指導計画 (全8時間) ☆ゴールに向けて積み上げる活動

時間	学 習 内 容	学 習 課 題
1	○本単元で身につける技能や理解する内容を知る。 ・学習チェックシートで本単元の学習内容を確認する。	
	○動名詞<動詞+～ing>を用いた文の構造を理解する。 ・自分や友達の好きなことや得意なことを言う。	自分や友だちの好きなことを言えるようになる。
2	○本文(p. 6 3)の内容理解と、本文を通して<動詞+～ing>の使い方を理解する。 ☆セヴァンさんの主張を読んで、思ったことを書いてみる。	☆セヴァンさんの主張を理解して、コメントを書こう。～地球環境について～
3	○look+形容詞, become+形容詞 を用いた文の構造を理解する。 ・「～に見える」「～になる」と言える。	人や物の様子について「～のように見える」という文を作ってみよう
4	○本文(p. 6 5)の内容理解と、本文を通してlook+形容詞, become+形容詞の使い方を理解する。 ☆セヴァンさんのメッセージからわかったことや感想を書いてみる。	☆セヴァンさんの主張を理解して、コメントを書こう。～国際理解の大切さ～
5	○<give+人+物>の語順を用いた文の構造を理解する。 ・<give+人+物>の語順を用いた文の構造を理解する。 ・「誰かに何かを与える。」という文を作ってみる。	誰かに何かをあげるということを伝えられるようになる。
6 (本時)	○本文 (p. 6 7) の内容理解と、本文を通して<give+人+物>の使い方を理解する。 ☆印象に残った語句や文を抜き出し、感想を書いてみる。	☆セヴァンさんの主張を理解して、コメントを書こう。～貧困問題について～
7	○セヴァンさんについて知ろう。 セヴァンさんの伝説となったスピーチを鑑賞する。	セヴァンさんについて知ろう。
8	単元のゴール ○3つのセクションで考えてきたことをもとに、自分の考えをまとめる。 環境問題や世界情勢(貧困、飢餓)の改善に向けて何ができるか。	セヴァンさんの主張に対する自分の考えや感想をまとめよう。
後日	<ペーパーテスト> ◇動名詞<enjoy[like, finish]+動詞の-ing 形>、<look[become]+形容詞>、<give+人+もの> の意味や使い方を理解できたか。	

4 本時について

(1) 本時の目標と評価規準

観点	目標	A 「十分満足できる」	B 「おおむね満足できる」	C 「具体的な対応・手立て」
外国語表現の能力	セヴァンさんのスピーチの内容やメッセージに関心を持ち、自分の考えや感想を書くことができる。	セヴァンさんのスピーチを読んで、自分の意見や感想を書くことができる。また、その理由も書くことができる。	セヴァンさんスピーチを読んで、自分の意見や感想を簡単に書くことができる。	教科書等で表現方法について再確認させる。

(2) 授業づくりのポイント

①「課題設定」

本時は、この単元の学習のまとめとして、セヴァンさんのスピーチを読んだ感想やその理由を英語の文章で書くことに挑戦させる。生徒は英語が苦手な生徒が多いので、抵抗感が強いことが考えられる。そこで、英文を書くときの語順や感想を書くときのフォーマットを与え、練習を積み上げていながら本時の課題設定につなげたい。

②「まとめ・振り返り」

本時の学習のまとめとして、英文を書く際の話順や、書き方について確認し、自分の考えを伝える方法を確認し、単元の最後に取り組む表現活動への意欲づけを図りたい。

学習チェックシートに自己評価とコメントを記入させ、本時の学習を振り返らせる。

(3) 本時の展開

段階 時間	学習活動	指導上の留意点
導入 10分	<p>1 あいさつ</p> <p>2 復習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セヴァンさんの考えや信念、活動を振り返る。</li> </ul> <p>3 学習課題の提示 ※学習チェックシートの確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>セヴァンさんのスピーチを読んで、セヴァンさんの主張に対する自分の考えや感想をまとめよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容、活動の目的を捉える。</li> </ul>
展開 35分	<p>4 Step1 (解決の見通し)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感想を書くときに必要な表現を確認する。</li> </ul> <p>She said ~.</p> <p>I think (thought) ~. / I learned ~.</p> <p>I want to ~. / I'd like to ~.</p> <p>We can (should) ~. など</p> <p>5 本文の内容理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の本文を音読して、必要な語彙の確認をする。</li> </ul> <p>6 Step2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セヴァンさんの主張について、どんな感想や意見を持ったか書いてみる。セクションごとに書いたものも加える。</li> <li>必要に応じて辞書を活用する。</li> <li>ペアで書いた内容を読み合い、お互いに1つ以上質問やアドバイスをし合って、内容や英文を増やせるように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interactionをしながら、既習の表現を使って対話をする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>セヴァンさんのスピーチを読んで、自分の考えや感想を書くことができる。(B)</p> <p>また、その理由も書くことができる。(A)</p> </div>
終末 5分	<p>7 学習の振り返り、宿題の提示</p> <p>本時のねらいが達成できたか振り返り「学習チェックシート」に記録する。</p> <p>8 あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習でできたことやできなかったこと、疑問等を自分自身で捉える。</li> </ul>